



2024年3月25日

東京都  
コスモ石油株式会社  
日揮ホールディングス株式会社  
株式会社レボインターナショナル

## 廃食用油回収促進キャンペーン「東京 油で空飛ぶ 大作戦～Tokyo Fry to Fly Project～」の展開 及び行政初・東京都の「ACT FOR SKY」加盟による官民の連携強化

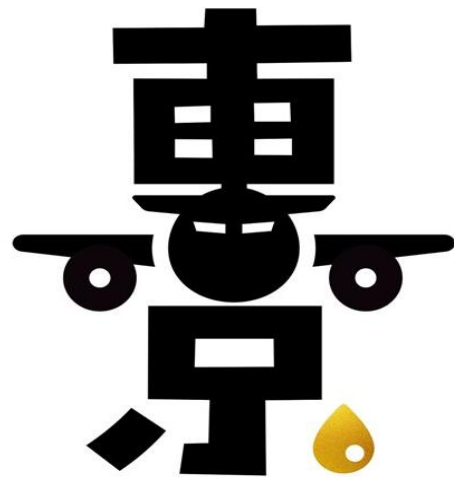
東京都は、コスモ石油株式会社(代表取締役社長:鈴木 康公、以下「コスモ石油」)、日揮ホールディングス株式会社(代表取締役会長CEO:佐藤 雅之、以下「日揮HD」)、株式会社レボインターナショナル(代表取締役:越川 哲也、以下「レボインターナショナル」)の3社と連携し、2050年までに世界のCO<sub>2</sub>排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」の実現を目指して、SAF(Sustainable Aviation Fuel:持続可能な航空燃料)の原料となる廃食用油の回収キャンペーン「東京 油で空飛ぶ 大作戦～Tokyo Fry to Fly Project～」(以下「本キャンペーン」)を展開していくことのお知らせをいたします。加えて、東京都は、国産SAFの導入・普及を目指す有志団体「ACT FOR SKY」に行政で初めて加盟し、官民一体となってSAF推進の取組を拡大してまいります。

### 1. 廃食用油の回収キャンペーン「東京 油で空飛ぶ 大作戦～Tokyo Fry to Fly Project～」

カーボンニュートラルの実現のためには、個人の意識変革や、それに伴う行動変容が不可欠であり、SAFの利用はその有力な手段の一つであると我々は考えています。廃食用油はSAFの原料のひとつであり、家庭から排出される廃食用油の回収を促進することで、個人が直接脱炭素に貢献できる機会を創出しながら、意識変革や行動変容につなげることが本キャンペーンの目的です。

家庭から排出される廃食用油の回収を行うためには、回収システムの構築や市民への周知など幅広く展開していく必要があり、多くの自治体や企業の協力が不可欠となります。資源循環による脱炭素化社会の実現を目指すFry to Fly Projectは日揮HDが事務局を務め、現時点で100の団体が参加しています。本キャンペーンはFry to Fly Projectに参加する自治体、企業の協力を得て展開してまいります。

東京は人口1400万人を誇り、日本の中で最も廃食用油の回収ポテンシャルを持つ都市です。「東京 油



**油で空飛ぶ大作戦**

**TOKYO FRY TO FLY  
PROJECT**

「油で空飛ぶ 大作戦」というスローガンの元、官民が一体となって連携することで廃食用油の回収量を最大化し、市民の行動変容につながると期待されています。



3月24日に開催された「国産 SAF の取組拡大に向けた発表会」の様子  
(左から、全日本空輸株式会社代表取締役社長 井上 慎一、日揮 HD 代表取締役会長 CEO 佐藤 雅之、東京都知事 小池百合子、日本航空株式会社 代表取締役社長 赤坂 祐二)



【都内自治体及び Fry to Fly Project 参加企業によるキャンペーンの取組事例】

(ア)	大規模マンションでの廃食用油回収及び住民向け周知イベントの実施	野村不動産(株)
(イ)	サービスステーション(ガソリンスタンド)での廃食用油回収	コスモ石油(株)
(ウ)	自治体イベントでの廃食用油回収・周知	都内各自治体
(エ)	商業施設及び施設イベントでの廃食用油回収・周知	三菱地所(株)・(株)大丸松坂屋百貨店
(オ)	自販機ラッピングによる周知	ダイードリンク(株)
(カ)	電車内及び駅コンコースでの周知	東京地下鉄(株)
(キ)	イベントの実施及び機内誌、SNS などの媒体による周知	日本航空(株)、全日本空輸(株) スカイマーク(株)
(ク)	医療・福祉・保育施設などでの廃食用油回収及び自社メディアによる周知	日清医療食品(株)
(ケ)	環境教育メディアでの発信及び SAF を通じた環境学習の実施	(株)アドバコム (同)サファイアスカイエナジー

## 2. 行政初、東京都が ACT FOR SKY に加盟

ACT FOR SKY は 2022 年 3 月に設立された国産 SAF の商用化及び普及・拡大に取り組む有志団体です。脱炭素化の実現に向けて「ACT＝行動を起こす」意志を持つ企業が協調・連携し、SAF やカーボンニュートラル、資源循環の重要性を訴えながら市民・企業の意識変革を通じて、行動変容につなげていくことを目指しています。

東京都は、2023 年度から、企業や都内区市町村と連携し、廃食用油回収促進事業を実施しており、2024 年度には、廃食用油の回収量のさらなる拡大に加えて、原料としてポテンシャルが高い廃棄物による国産 SAF 製造についても積極的に後押ししていきます。これらを推進していくため、このたび、ACT FOR SKY へ加盟しました。なお、東京都の加盟により、加盟団体数は 38 となります。

【ACT FOR SKY ロゴ及び加盟団体】







行政初、東京都が ACT FOR SKY に加盟

#### 【東京都廃食用油回収促進事業について】

東京都は、2050年までに、世界のCO<sub>2</sub>排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」の実現を目指し、持続可能な資源利用への転換を推進しています。航空業界では、2050年カーボンニュートラル達成のため、SAFの調達・使用に取り組んでいますが、原料となるバイオマス等の調達が課題となっています。

SAFの原料となる廃食用油回収の拡大を図り、SAF製造へつなげる新たなサプライチェーン構築を後押しするため、昨年4月に「廃食用油回収促進に係る事業提案」を公募し、提案が採択されたコスモ石油、日揮HD、レボインターナショナルの3社と同年8月に協定を締結しました。

詳細は以下リンクをご参照ください。

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2023/230803.html>

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/wastecookingoil>

#### 【国内初の国産 SAF 大規模生産事業について】

コスモ石油、日揮HD、レボインターナショナルは、国内での廃食用油の収集からSAFの製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022年に新会社サファイアスカイエナジーを設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約3万キロリットルのSAFの供給を目指しています。なお、本事業はNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)より採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ: [https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3\\_100312.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html)



<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

内容		お問合せ先
①東京 油で空飛ぶ 大作戦 ～Tokyo Fry to Fly Project～	—	日揮ホールディングス株式会社
	概要	日揮ホールディングス株式会社
②ACT FOR SKY	東京都の加盟	東京都 環境局
	概要	東京都 環境局
③東京都廃食用油回収促進事業	個別の取組	日揮ホールディングス株式会社
	SAF 製造	コスモエネルギーホールディングス株式会社
④国内初の国産 SAF 大規模生産事業	廃食用油の回収	株式会社レボインターナショナル